

## ノーザンテリトリー(NT)のご紹介

ノーザンテリトリー (NT) は、特徴的な自然や文化があるため、実際に何があるのか想像ができない土地です。時々、キングスカニオンを覗き込んだりモンスーンの森林から飛び去っていく何羽ものオオコウモリを見れば、その驚くべき生態に圧倒されることでしょうか。しかし一瞬人の目をくらますような何もない土地にさらされて何日かたつと、初めて NT の美しさの多くが目飛び込んできます。たとえば、夕暮れの空を背景にして映る檜の木のシルエット、乾燥した川底でオオトカゲがのそのそ這い回る姿、突き出している砂岩の下に描かれているアボリジニー芸術の古代の線画などです。

ここを訪れる人は、すぐにウルル（エアーズロック）のシルエットからアーネムランドの急斜面、熱帯のトップエンドのマングローブの沼沢地などの風景を堪能することでしょうか。イリエワニの目玉がどこにあるか探しながら、イエローウォーターをクルーズしたり、マクドネル山脈のごつごつした峡谷を歩いたり、リッチフィールド国立公園の岩の多い水辺や滝の下で船をこいで見ましょう。ティウイアイランドの アボリジニーの墓碑の間に立ち、博物館や文化センターの展示品を見ると、アボリジニー文化の魅惑的な美しさがわかることでしょうか。そして、奥地のパブや、アリススプリングスのピヤガーデン、首都ダーウィンの海岸地帯にあるカフェでくつろいでください。

## テリトリーで見ることできること

**ワタルカ（キングス峡谷）国立公園**—荘厳なキング峡谷の切り立つ 100m の高さ岸壁に登って見ましょう。ここは、中央オーストラリアでもっとも素晴らしい光景のひとつです。

**ウルル（エアーズロック）とカタジュタ公園（オルガ岩群）**—素晴らしい光景のウルルの移り行く色やカタジュタ公園の円形の巨大石群に目が釘付けになります。

**リッチフィールド国立公園**—この素晴らしい公園内の、滝や雨林に囲まれた美しい水辺で泳いでみてください。

**カカドゥ国立公園**—ウビルーの素晴らしいアボリジニーの壁画をじっくり鑑賞してから、他に類を見ないこのカカドゥ公園の他の場所も見てください。この公園は、自然と文化の両面で重要性を持つ遺跡として、世界遺産に登録されました。

**レイボウバレー**—4WD 車に乗って、レイボウバレーヘッドドライブに出かけて見ましょう。すばらしい砂岩の断崖や絶壁の連なる姿を見ると、オーストラリアの奥地の雰囲気が満喫できます。ここを訪れる人は、まずその静寂さに驚くことでしょうか。

**ティウイ・アイランド**—ティウイツアーなどお勧めのツアーに参加して、バサーストのアボリジニーのコミュニティを訪れてください。

**ティウイツアー：電話番号: 1300 721 365 ウェブサイト: [www.aussieadventure.com.au](http://www.aussieadventure.com.au)**

## ダーウィンのご紹介

ダーウィンは、リラックスできる熱帯のスピリットに満ち溢れた、人に好まれる現代的な土地です。地理的には、シドニーよりもジャカルタに近く、オーストラリア内陸部よりも、アジアなどの外国に目が向いているのも不思議ではありません。遠く離れたテリトリーのほとんどの人よりも、ダーウィンの人々は、自分たちで楽しみを見つけ出すことに慣れています。ミッチェル通りのナイトライフなどが挙げられます。くらげが発生するため、一年の三分の二は、ビーチで泳げなくても、街のウォーターフロントでは、素敵な港の風景が見えるさわやかな遊歩道があり、人気のあるベイサイドのカフェもあります。

変わりやすい気候の雨季には、すさまじい嵐が吹き荒れます。地元の人々は、風の勢いが増すとこの嵐が始まるのを知っています。他の日は、陽の当たるビアガーデンに座って一杯飲んだり、近くにある魅力的なトップエンドに旅行をしたくなるような良い天気が多いといえましょう。オーストラリアの他州の人にとって良く知られているダーウィンの特徴といえば、サイクロントレーシーでしょう。破壊的なサイクロンは、1974年のクリスマスイブとクリスマス当日に起こりました。風速は、時速280 kmにまで達し、66人が死亡、ダーウィンの民家のうち60%が破壊されました。それ以降建てられた新築の家と、今回建て直しをした家は、サイクロンに耐えられるような仕様になっています。

ダーウィンの中心地は、半島の端にあるコンパクトに整然と並んだ升目状の街です。主要なショッピングセンターは、歩行者専用道路スミス St モールの周辺です。

## ダーウィンの気候

NTの80%が熱帯にあるにもかかわらず、アリススプリングスのちょうど北にカプリコーンの熱帯があります。（ダーウィンのある）トップエンドと呼ばれている北部の25%では、まさに熱帯気候であるといえましょう。トップエンドのほかの場所と同じく、ダーウィンの気候は、乾季と雨季の気候といえましょう。年間最高気温は30°Cから34°Cで、最低気温は19°Cから26°Cとなっています。

ざっとみると、乾季は4月から9月まで、雨季は10月から3月まで続き、最も激しい雨が1月から降り続けます。観光に最も適した季節は、6月と7月でしょう。ダーウィンの雨季にはとても素晴らしい見所があり、あらゆるものが緑一色になりますが、すさまじい嵐が吹き荒れるため、旅行者の数はまばらです。しかし、暑さと湿度の高さは耐え難く、舗装されていない道は通行不可能です。この時期、国立公園の中には、一部もしくは完全に閉鎖される所もあります。

## 文化についての概説

ダーウィンには、活気のある芸術の共同体や、ライブミュージック、素晴らしい美術館などがあります。オーストラリア・パーリング・エキシビションは、そのよい例で、国内の遺産を展示しています。この土地は、ティウイ・アイランドやアーネムランドにあるトップエンドに古くからあるアボリジニーの文化や習慣を探検するのに良い拠点となっています。アボリジニーの土地のツアーは、共同体の人が主催していることもありますが、徐々に一般的になっています。というのは、アボリジニーの人々が自分たちの文化を他の人々にも知ってほしいと思うようになってきたからです。その利点は、二つあります。一つには、ツアーの収益金だけでなく芸術品や工芸品を直接人々に売ることにより経済利益があがることです。もう一つは他民族にアボリジニーの伝統的な文化を伝えるということがあります。

オーストラリア パーリング エキシビション: Wharf Precinct. 電話番号: 08 8999 6573.

## ここはぜひ見たい

ダーウィンの見所を次にいくつかあげてみましょう。

アクアシーンで、満ち潮の時、餌を求めてやってくる魚と会いましょう。これは、40年も続いている行事です。沢山のぼら、なまず、バットフィッシュ時にはイトマキエイに、自分の手で餌をやることもできます。

**アクアシーン：電話番号：08 8981 7837 ウェブサイト：[www.アクアシーン.com.au](http://www.アクアシーン.com.au)**

日が沈んだら、ミンディル・ビーチ・サンセットマーケットに行き、200以上出店している美味しそうな（そしてお得な値段）食べ物が並ぶ屋台で、何を食べるか決めましょう。屋台では、東南アジアのすばらしいクラフト作品、マッサージ、陶磁器類もあります。

**ミンディ・ビーチ・サンセット・マーケット：ウェブсайт：[www.ミンディビーチサンセットマーケット.com.au](http://www.ミンディビーチサンセットマーケット.com.au)**

ファニーベイの北の街に向かい、すばらしいノーザンテリトリー博物館&アートギャラリー(tel 8999 8201; Conacher St)に行ってみましょう。NTのアボリジニーのアートコレクションやサイクロントレーシーのすばらしい展示がありますので、ぜひ時間を割いて御覧ください。

**ノーザンテリトリー博物館&アートギャラリー：Conacher St. 電話番号：08 8999 8201**

ピクニックの支度をして、ファニーベイの北にある細長い土地、イーストポイントリザーブに向かいましょう。午後遅く行けば、太陽が湾に沈んでいく光景や、ワラビーが餌を求めて出てくる姿を見ることができます。

デッキチェアシネマに行き、昔風のデッキチェアに寝そべって、夜空の星の下で映画を見ましょう。ダーウィンのすばらしい屋外でウォーターフロントのシネマを楽しんでください。

**デッキチェアシネマ：Kitchener Dr, Wharf Precinct. 電話番号：08 8981 0700**

**ウェブサイト：[www.デッキチェアシネマ.com](http://www.デッキチェアシネマ.com)**

## 食べて楽しむ

ミッチェル St 周辺と街の中心街には、食事をする場所が沢山あります。埠頭周辺やカレン・ベイでは、海辺の景色が見られます。観光客に（地元の人にも）人気のあるバーは、ミッチェル St にあり、徒歩でいける距離にあります。次にいくつか飲める店をあげてみましょう。

ローマバーの掲示板を見て、この地方のアートやエンターテイメントを探して下さい。このバーは、美味しいコーヒーを出す小さく気軽なカフェで、食事をする人に雑誌や新聞を御客様に提供しています。

**ローマバー：30 Cavenagh St, City Centre. 電話番号：08 8981 6729**

バズカフェで、ゆっくりしてください。ここは、カレンベイ・マリーナにあり、ヨットに囲まれた何層にもなっているウォーターフロントにあります。美味しい食事とワインリストも豊富、内装にもこだわりがあります。

**バズカフェ：The Slipway. 電話番号：08 8941 1141**

トワイライト・オン・リンゼイで、NTの新鮮な産物を使ったアジア料理を楽しんでください。サイクロントレーシー以前に建てられた家屋を店として使っており、高床の下に設置した雰囲気の良いレストランです。

**トワイライト・オン・リンゼイ：2 Lindsay St, City Centre. 電話番号：08 8981 8631**

リザーズ・バー&グリルの素敵なビアガーデンでライブミュージックを楽しみながら、さわやかなドリンクを一杯やってみてください。

**リザーズバー&グリル：Top End Hotel, cnr Mitchell & Daly Sts, City Centre: 電話番号：08 8981 6511**

レトロで一晩中踊り明かしてください。ここも、トップエンドホテルの離れにある大きなダンスクラブです。ドリンク類が安くなる火曜日にぜひ行ってみてください。

**レトロ：電話番号：08 8981 6511**

## ダーウィン（と NT）のイベント

オーストラリアの他の土地のように、ダーウィンはフェスティバルや特別のイベントが山盛りです。特に、年間恒例のアボリジニーのフェスティバルは、訪れる価値があります。このフェスティバルは、通常アボリジニーの所有地に限定して行われますが、開催条件の決定権はアボリジニーにはありません。次にそのいくつかをあげてみましょう。

**ティウイグランドファイナル**– バサーストアイランドで3月後半に開催され、このスポーツイベントはトップエンド周辺のアボリジニーのコミュニティ間で行われ、オーストラリアルールで行うフットボールシーズンの頂点を極める試合です。決勝戦は、主要なスペクタクルで、この日のためにダーウィンから飛行機に乗ってたくさんの人がやってきます。

**ビール缶レガッタ**– ダーウィンのミンディルビーチで行われる、陽気で変わったフェスティバルで、ビール缶でできたボートで行うレースです。

**ガーマフェスティバル**– 4日間行われるこのフェスティバルは、8月に北東のアーネムランドが開催地です。ヨルニュー文化を大規模に祝う祭りで、儀式のパフォーマンスやブッシュクラフトの作り方教室、イダキ（ディジェリドゥ）の師範クラスやアカデミックなフォーラムも開かれます。

**ガーマフェスティバル: ウェブサイト: [www.garma.telstra.com](http://www.garma.telstra.com)**

**ダーウィンロデオ**– 8月に国際チームが多くイベントで競い合う大会で、馬を打つ鞭の音が聞こえます。

**ダーウィンフェスティバル**– 8月に2週間にわたって開催されるこのフェスティバルは、主に戸外で行われ、ダーウィンの独特な文化の混合を祝います。

**ダーウィンフェスティバル: ウェブサイト: [www.ダーウィンフェスティバル.org.au](http://www.ダーウィンフェスティバル.org.au)**